

平成21年第二回若手交流会 アンケート集計

No	今回の内容	今後について
1	参加案内で事前に情報提供がすくなかった。	交流という点で考えると1回目で組んだチームに2回目の宿題を出すことでリーダー以外に密に連絡をとりあうことが出来る方法でも良かったと思います。
2	研修を申し込む側の立場にたったアピールができなかったのが反省。プレゼンテーションの相手を意識することが大事だと感じた。	今後も「気づき」の場として継続して開催されることを期待します。
3	チームで討議することの大切さ、重要性を学びました。また、自分のプレゼン力の低さに考えさせられるものがありました。今回の経験を忘れずに現場の仕事に活かしたいと思います。	交流会を通して、他社の方々でチーム活動ができたことは良い経験になりました。チーム活動の重要性を再認識できるセミナーでした。
4	企画案をもう少し詳細に練るべきだった。企画内容自体は大変おもしろかったし、個人の意見が表れておもしろかった。	
5	1つのテーマについてチーム内で意見をまとめることは難しいとあらためて思った。	時間的な余裕がないので1日かけておこなうことは出来ないか？(テーマにもよるが)
6	前回でもプレゼンを体験させていただきました。その際はあたまが真っ白になってしまい、ただ文章を読んでいるだけとなっていました。今回、まだまだだと思うのですが、前回よりははっきりと伝えることができたかなと思っています。このような場はなれていくおとしかなないと考えています。これからもこのような場を提供しつづけてくれればと考えています。	実際に企画した内容を実施できたと思います。
7	テーマがおおきかったため、討論・発表ともにもずかしかった。テーマや条件に具体性をもたせ、実施した法が良かったのかもしれない。	固すぎないテーマ
8	打合せの段階に満足に参加できず申し訳ありませんでした。発表するクジを引きたかったのですが残念！でした。全体的にもっと提供側で舞台を固めて用意したほうが良いのかどうか迷うところです。	距離の壁さえ越えることができれば、運営的な部分にも協力と勉強をさせて頂ければと思います。
9	現場の人間としては、もっと具体的な実践向けの研修内容を発表してほしい。	
10	時間をかけてじっくり意見を交換できたのでとても有意義でした。もう少し長めに時間をかけてないようや資料を作りこんでもよかったです。	
11	IT関連の業種の新人研修ということであらかじめ考えをまとめたが、一般的な業種にとらわれないというターゲットだったため、難しい内容であった。	限られた時間の中で、プレゼン資料まで作成するため、もう少し、詳細な条件をあらかじめ提示してほしい。
12	1回目同様、時間制約の中でグループワークはスリルがあってよかった。(もっと、発表ないようを詰めたという気持ちが出てくる)	オブザーバーの皆様おつかれさまです。弊社ではグループ持ち回りで参加なので、楽しく参加できることを期待しています。
13	グループ内セッションにて意見を出し合うことができてよかったと思う。ただし、もっと積極的に(全体的に)なってもいいのかなと思う。	色々な種類の課題を取り組むことが出来、有意義でした。
14	新人教育がテーマということで、チームメンバーから現在の新人に不足している点を聞きましたが、その対策として何が必要なのか、様々な方から意見を聞くのはとても参考になりました。	参加者の皆さんとは、この交流会でしか話をする機会がもてないのが少しもったいないように思います。
15	前回に比べ、時間も長く内容も堅めだったので、若干の不安はありましたが、複数人で意見交換をして1つの課題をクリアしていくというのは、とても勉強になりました。	グループに分かれてディベートのようなことをするのも面白いかなと思いました。
16	グループでの討議はそれぞれの意見集約が大変でしたが、今後の現場で活かしていきたいです。	発表時のオブザーバーの方々には、事前にプレゼンの意義や前提条件等確認していただきたいです。こちらが真剣に取り組んでいる中でオブザーバーの方々には真剣さが伝わってきませんでした。
17	同じテーマの中で、それぞれのチームが違う視点で資料を作っていたことが面白かった。	ディスカッションの時間がもう少しあればよかったと思った。
18	ひとつのテーマに対して3チームがそれぞれ違った視点で教育方針、カリキュラム作成がされており発表をきいてとても興味深かったです。また、自分の教育担当をしているので参考になりました。	来年参加する弊社社員に自分が経験したことを引き継げられれば良いと思います。

開催後の反省等

- ・テーマの狙いとしては良かったが、開催要項について事前に詳細を連絡して各チーム毎に事前準備をしてもれれば良かった。
⇒課題内容にあいまいさを含んだまま行ったため、メンバーを混乱させてしまった。
⇒開催前に連絡を取り合えるような方法にすれば、もっと交流の機会を増やせたかも。
- ・2回目は時間を長くとったが、テーマの特性もあり時間が足りないという意見もあったため、テーマによっては1日かけて、チーム作業と、チーム間のディスカッションという2部構成とかの構成を検討しても良いかも。
- ・開催要項について、オブザーバーへの説明が不足していた。
⇒記載していたつもりであったが、ヒヤリングするポイントを示すと良かった。
- ・今回リーダー間ではテーマ等の検討で連絡を取り合うことが多く交流を持てたが、参加メンバーについては、どうしても意識して連絡をとることはないと思われるので、課題(宿題?)という名目で連絡を取り合う機会を作ってあげても良かったと思う。
- ・多くの人と話し合いを出来るようにと、チームシャッフルを行なったが、二回とも同じメンバーで行なう方が、最初から活発にディスカッションが可能だと思う。ただし、意識しないで交流できるメンバー数は減ってしまう。
- ・開催の運用案として
 - 1回目は、堅くないテーマで、メンバーの交流を主とした開催として実施。
 - 2回目については、みんなで考えるテーマを選定し、2回目開催前に各チームへ宿題を出して、2回目開催で宿題をもとに、まとめを行いながらディスカッションを行なう。
- チームについては、1回目、2回目は同じメンバーとして、ディスカッションしやすい形式を考える。
全体の交流については、チーム間でディベートなどを用いて対応する方式か、
発表後に、チームシャッフルを行い、発表した内容を再構成させるなどの方式でカバーする。
 - 宿題(チーム内で事前検討) ⇒ 2回目開催:前半(まとめ、発表)
⇒ 2回目開催:後半(チームシャッフルによる、発表内容の再編成、発表)